

授業と評価の年間計画

教科	理科	科目	地学探究A	
履修条件 対象生徒	選択 普通科 文型 2年			
学習目標	地学的な事物・事象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を身に付ける。			
学習方法	<p>【授業】 教科書、資料集、問題集、プリントを用いて授業を行う。ノートの取り方については授業の最初の時間で説明する。実験では実験ノートを活用し、科学的な観察力・技能を身に付ける。</p> <p>【家庭】 問題集は、予習にも復習にも活用できる。復習中心の学習が効果的であるとともに、日常のニュースを見ることも効果的である。この授業の内容は、3年次以降の理科でも役に立つ内容なので、反復した学習による学力の定着が望まれる。</p> <p>【補習・その他】 課題プリントや授業中に指示した宿題について、提出を求める場合がある。</p>			
学習の計画 と ねらい	1 1学期 (1)期末考査まで ア 宇宙の構成	・太陽系と太陽，進化，銀河系と宇宙について理解する。		
	2 2学期 (1)中間考査終了から期末考査まで ア 地球の構成 (ア)地球の概観 (イ)地球の内部 イ 地球の進化 (ア)地球の歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球の形状と地磁気・重力について理解する。</li> <li>・地震波による地球内部構造とプレートテクトニクスについて理解する。</li> <li>・火成岩の分化、堆積岩・変成岩の成因について理解する。</li> <li>・地層の広がりやの表し方、地層の走向傾斜の表し方を理解する。</li> <li>・地球の年代区分と生物の進化について理解する。</li> </ul>		
	3 3学期 (1)学年末考査まで ア 大気と海洋 (ア)大気 (イ)海洋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気圏の構造を理解する。</li> <li>・地球の熱収支と大気の大循環について理解する。</li> <li>・海洋の特徴について理解する。</li> </ul>		
評価規準	知識・理解	技 能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
	自然の事物・現象について、基本的な原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	観察・実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に整理することができる。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、科学的に考察し、的確に表現することができる。	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとする科学的態度を身に付けている。
評価方法	定期考査や課題考査の成績を重視するが、授業における課題等の提出状況や出欠状況、授業態度も含め、総合的に判断して評価する。			
そ の 他	資料集を用いた学習、実験・観察、演習等を通して探究的な学習を実施する。センター試験では、知識量だけでなく内容を正しく理解しておくことが必要である。大学の二次試験では、十分な内容理解と表現力が大切になってくる。			

